

「多様性を受容する都市・建築空間の提案」を目的とした研究



環境学部 環境学科
准教授

老田 智美
OIDA, Tomomi

SDGs 関連項目



● 研究内容

多様な人の身体特性や日常生活の問題点、心理的負担等を把握する研究を基本とし、誰にとっても公平に「選択肢のある利用環境」や「素敵だと感じるデザイン」を創出する活動をしています。現在進行中の研究は次のとおりです。

- 1) 視覚障がい者の公共トイレ内の移動方法および環境情報取得方法に関する研究
視覚障がい者の中には、公共トイレ内の空きトイレブース等の把握とそこまでの移動について困難をきたしているが、バリアフリー法ではトイレ内誘導の言及はされていません。本研究では環境情報取得に基づく誘導方法の検証をしています。
- 2) 認知症高齢者のための「癒やしの環境」の創出に関する研究
認知症高齢者が居住する施設においては、バリアフリーのみならずBPSD（行動・心理症状）への空間的配慮も必要です。本研究では不穏状態時に過ごせる癒やしの環境を提案し、その効果の調査をしています。
- 3) 感覚過敏をもつ学生に配慮した「居場所」としてのカームダウン空間に関する研究
大学等での発達障害・精神障害の診断書を有する学生の在籍率は、過去5年で約2倍に増え、また発達障害の診断基準を満たさない「グレーゾーン」の学生も潜在すると考えています。本研究では大学内の休憩環境に対し「カームダウン・クールダウン」という「新たな需要の掘り起こし」を目的に調査をしています。

● 想定パートナー

自治体、ディベロッパー、ゼネコン、ハウスメーカー、社会福祉法人、医療法人 等

● 応用分野

安心・安全・快適なまちと建築の創造、観光ユニバーサルデザイン、避難所環境の改善

● 取組実績

- ・錦城護謨株式会社（視覚障害者用誘導具 共同開発）
- ・イオンモール株式会社（UD監修・設計、UDガイドライン作成 等）
- ・永旺梦乐城（中国）投资有限公司北京投资咨询分公司（UD監修、UDガイドライン作成 等）
- ・ロッテ扶餘リゾート株式会社（UD監修 等）
- ・神戸空港ターミナル株式会社（施設利用者調査、サインデザイン設計 等）
- ・倉敷観光コンベンションビューロー（サインデザイン設計 等）
- ・神戸市立王子動物園（王子動物園バリアフリー調査）